

## ● 肥大型心筋症

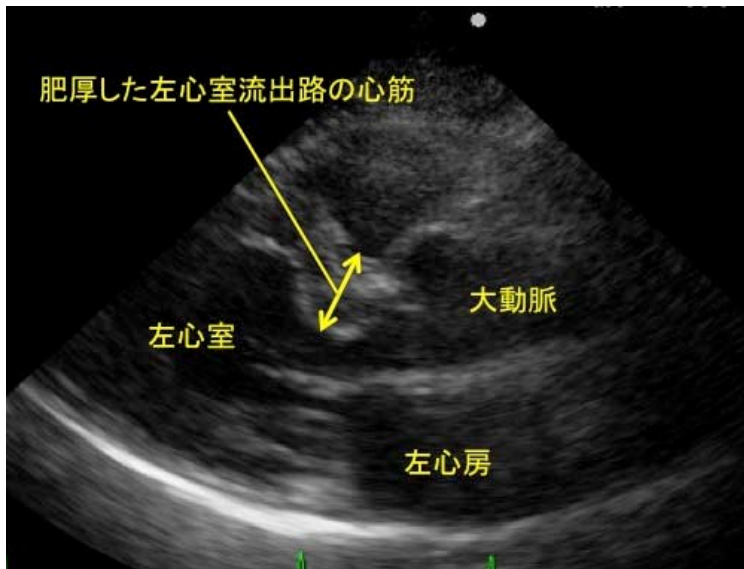
心臓の筋肉(心筋)が異常に肥大する病気。

様々な病態を引き起こす。

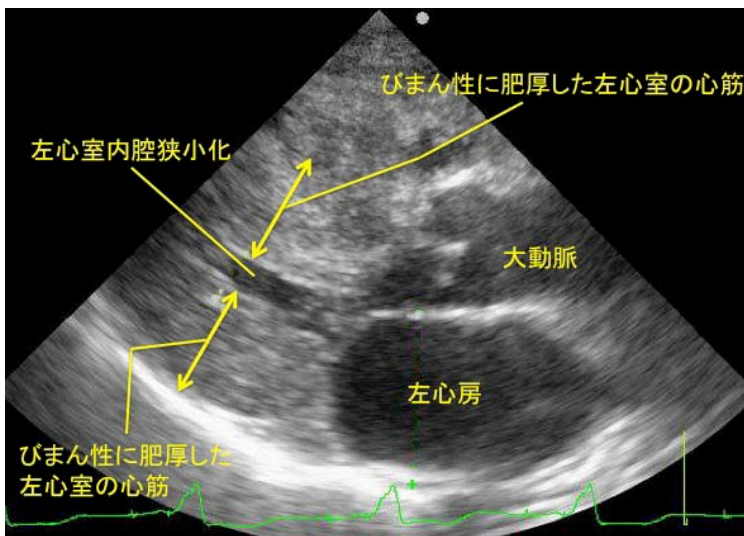
1. 心臓の拡張障害: 心臓が膨らみにくくなり心不全を引き起こす
2. 左心室容量低下: 左心室の内腔が小さくなり、心拍出が低下する
3. 左心室流出路狭窄: 左心室から大動脈に血液が拍出されにくくなる
4. 心室性不整脈: 突然死の原因となる
5. 僧帽弁収縮期前方運動: 左室流出路狭窄増悪や僧帽弁逆流を引き起こす

## ● 肥大型心筋症のタイプ

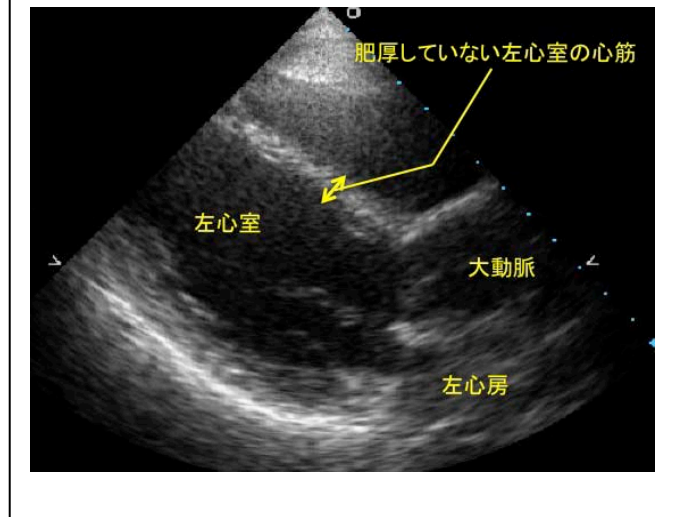
### 1. 流出路肥大型



### 2. びまん性肥大型



### ● 通常の左心室心筋



## ● 通常の外科治療

### 1. 流出路肥大型

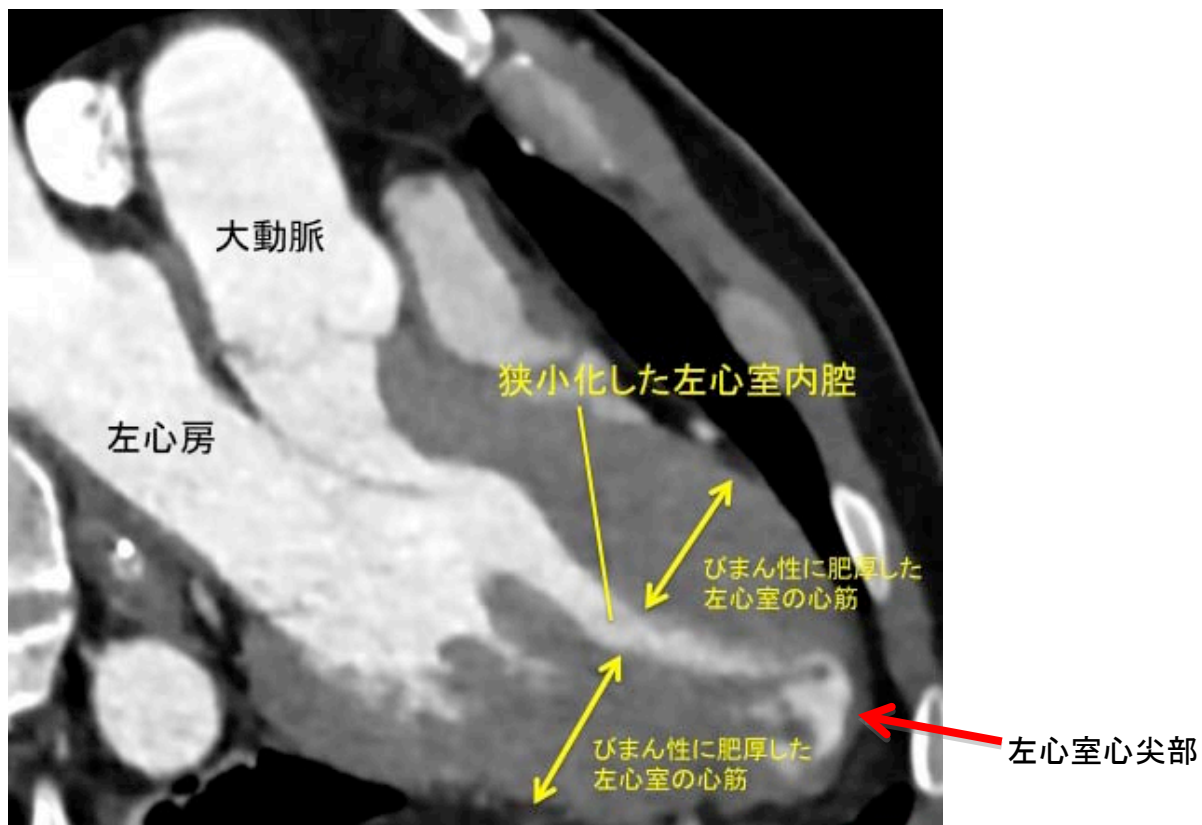
大動脈弁越しに肥大した左心室心筋を切除する。

### 2. びまん性肥大型

大動脈弁越しの左心室切除のみでは、十分切除できないことがある。

僧帽弁を切除して、僧帽弁輪越しに左心室心筋切除を切除し、その後に機械弁による僧帽弁置換術を施行することもある。

- ◆ 今回のケースでは 40 歳代の男性で、左心室中部から左心室心尖部にかけて心筋肥大が著明であり、また難治性の心室頻拍を合併していた。

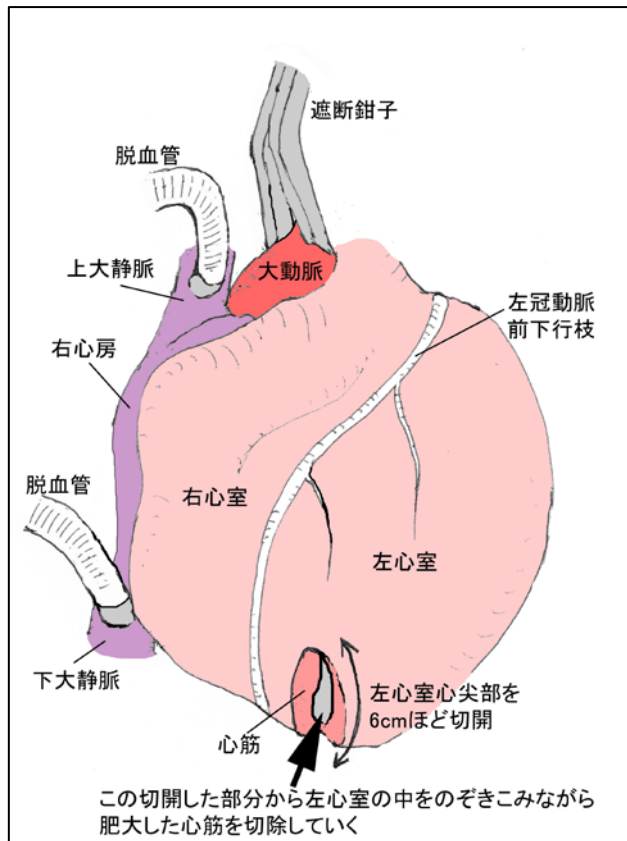


大動脈弁越しからの心筋切除は困難であり、また僧帽弁を切除して、僧帽弁輪から心筋切除を行い、機械弁による僧帽弁置換術を行う方法も考慮されたが、正常な僧帽弁を機械弁に換えることはできるだけ回避したいと考えられた。

そのため左心室心尖部を切開し、そこから奥に向かって心筋を切除することとした。

また左室心尖部の心筋から異常な電気刺激が出ることで心室頻拍が引き起こされていると診断し、左心室心尖部に Cryo-Ablation を施行した。

◆ 左室心尖部切開による左室心筋切除術（手術のシエーマ）



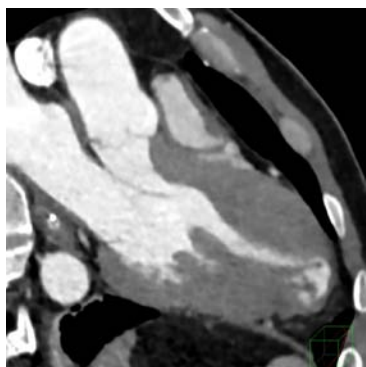
この手術により僧帽弁に手術を加えることなく左心室内腔を拡大することができた。

術後心室頻拍も改善し、無事に退院することができた。

以下に術前後の心臓造影 CT 検査を示す。

術前：狭小化した左心室内腔

長軸

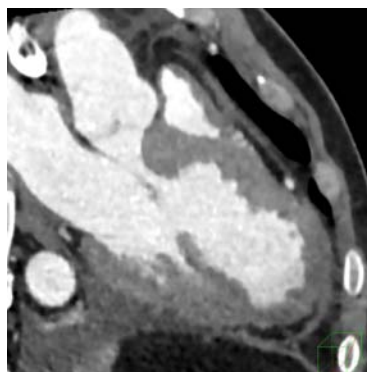


短軸



術後：拡大された左心室内腔

長軸



短軸

